

ダンスで養う表現力

大学生講師にセミナー

八戸東高



ジャズダンスの基礎などを学ぶ八戸東高の生徒たち

八戸東高校表現科はこのほど、日本女子体育大学ダンスプロデュース研究会の学生らを講師に招き、サマーダンスセミナーを開いた。同校の生徒や県内の小中学生など約150人の参加者がバレエやジャズダンス、ヒップホップなどの基礎を学んだ。

セミナーはさまざまなジャンルのダンスを研究している同大の学生から専門的な指導を受け、ダンスに関する知識や表現力を養おうと初めて開催した。

参加者は各ワークシヨップに分かれ、基礎となるステップや体の動かし方を、一つ一つ大学生から教わっていた。

ジャズダンスのワークシヨップに参加した八戸東高2年の古川怜奈さんは「ジャズダンスは初めてだけど、思っていた以上に全身を使うダンスで貴重な体験ができた」と心地よい汗を流していた。

指導を担当した同大3年の高野千香さん(20)は「思っていた以上に参加者の覚えが早い。教え方など勉強になり、良い経験になった」と話していた。

(沼田毅)